

東京ゲームショウ関連報告

担当:安田 秀樹

<注目ポイント>

- ①9月21日から東京ゲームショウが開催された。その直前に任天堂が「ニンテンドーダイレクト」、SIE が「2017 SIE プレスカンファレンス」を実施するなど、ゲーム関連が大いに注目を集めた。これらについて簡単に触れる
- ②「ニンテンドーダイレクト」でのサプライズは中国のテンセントが MOBA の「Arena of Valor」を「Nintendo Switch: 以下 Switch」に投入すると発表したことである。今回の決定は、コンシューマゲーム機市場への本格参入を図りたい意向を持つテンセントと、市場は巨大ながら人民政府の規制が厳しい中国への参入可能性を探っている任天堂の思惑が一致したためであろう。

一方、「2017 PS プレスカンファレンス」には大きなサプライズは無かったと考えているが、「PSVR」に投資を継続するとしたことは懸念材料。「PSVR」の挽回は最早、困難であると考えるのが妥当だが、ソニーの平井 CEO は、ソニーグループ全体の利益になるため、投資を推し進めたいという意向を持っており、将来性に乏しいビジネスに投資を続けることはコンコルド錯誤に繋がる。早急な対策が必要だろう。
- ③9月21日から開催された東京ゲームショウの会場での印象は「Switch」の比率が高く、特にインディーブースでは「Switch」で開発・配信中であることを示すディスプレイが多数展示されるなど、タイトル数では優る PS より多いと感じるほどであった。
- ④「Switch」向けのタイトルが増え始めたことは、今後の「Switch」の成功をより大きなものにする可能性を強めている。大きな成功は、任天堂の業績に直結し、株価の上昇要因になる。エース経済研究所が、サードパーティタイトルを評価するのはゲーム機の成否に対する影響では無く、任天堂の業績に対する好影響についてである。
- ⑤マルチタイトルの増加については、エース経済研究所では、「Switch」は演算能力では他社ゲーム機に劣るものの、「Wii」、「WiiU」に比べてとのアーキテクチャの差異が極めて小さく、対応しやすいと主張していた通りだったと考えている。そして、来年には目に見える形で競合が激化し、サードパーティタイトルでも、「Switch」がリードする展開が出現すると予想している。

《アナリストによる宣言》

私、安田 秀樹は本調査資料に表明された見解が、対象企業と証券に対する私個人の見解を正確に反映していることをここに証明します。
また、私は本調査資料で特定の見解を表明することに対する直接的または間接的な報酬は、過去、現在共に得ておらず、将来においても得ないことを証明します。

《利益相反に関する開示事項》

- エース証券株式会社(以下、エース証券)及びグループ会社は、本資料に掲載された企業の売買あるいは当企業に対し、引受、その他のサービスを提供する場合があります。
- 株式会社エース経済研究所(以下、ARI)は、エース証券との契約に基づき、エース証券への資料提供を一定期間、継続的に行うことに対し包括的な対価をエース証券から得ておりますが、本資料に対して個別に対価を得ているものではありません。
また、銘柄選定も ARI 独自の判断で行っており、エース証券を含む第三者からの銘柄の指定は一切受けておりません。
- 執筆担当者、ARI と本資料の対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。

金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等: エース証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第6号
加入協会: 日本証券業協会
指定紛争解決機関: 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

■手数料等及びリスクについて

●株式の売買には、約定代金に対して最大 1.242%の手数料(約定代金が 100 万円以下の場合、最低手数料 2,700 円)(税込み)が必要となります。●株式は、株価の変動により、損失を生じるおそれがあります。●上場有価証券等書面の内容をよくお読みください。●外国株式は、為替相場の変動等により、損失を生じるおそれがあります。●非上場債券(国債、地方債、政府保証債、社債)を当社が相手方となりお買い付けいただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。●債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。●外国債券は、為替相場の変動等により損失を生じるおそれがあります。●商品毎(投信・外債含む)に手数料等及びリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書またはお客様向け資料をよくお読みください。

エース証券及び ARI 免責事項等

- 当資料により株式・債券・その他金融商品(投信・外債含む)等の勧誘を行うことがあります。本資料で言及した銘柄や投資戦略は、投資に関するご経験や知識、財産の状況及び投資目的が異なるすべてのお客様に、一律に適合するとは限りません。また、株式・債券等の有価証券の投資には、「手数料等及びリスクについて」に記載のとおり、損失を生じるおそれがあります。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断で行っていただきますようお願い致します。
- 本資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて ARI が作成し、エース証券(以下、当社)がお客様にご提供いたしますが、当社及び ARI は、ARI が基にした情報及びそれに基づく要約または見解の正確性、完全性、適時性などを保証するものではありません。本資料に記載された内容は、資料作成時点におけるものであり、予告なく変更することがあります。
- 本資料を利用した結果、お客様に何らかの損害が発生したとしても、当社及び ARI は何らの責任を負うものではありません。
- ※ (著作権等) ・ ・本資料に関する一切の知的財産権は、原則として ARI に帰属します。電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、本資料の無断転用、複製等を行わないようお願い致します。